



## 第 7 号

# 76 期の



— 内容 —

- 学年主任より
- 学年末考査講評
- 春休みの課題・連絡
- コラム ～私が今、伝えたいこと～
- 今後の予定



## 学年主任より

皆さん 1 年間お疲れ様！

終わってみれば早かったなーって思っています。ちょうど 1 年前の今頃に、担任の先生方で『76 期の WA』というスローガンを決めて、入学式で皆さんにお話しました。「学びの WA」「仲間の WA」「思いやりの WA」は大きく育っていますか？この 1 年間で皆さんの姿を見て成長を見守ると同時に、75 期生 74 期生の先輩たちの姿を見ながら、76 期生もこんな風に成長していくんだと、日々期待に胸を膨らませています。

「出会いは人生を豊かにしてくれる」

皆さんはこの 1 年間でいろんな出会いがあったはずですよ。これからももっともっとたくさんのお出合いが待っていますが、出合いを求めて自分から一歩踏み出す 76 期生であってほしいと思います。人との出会いはもちろんですが、良い問題とたくさん出会うことも大切なことです。一歩ずつの歩みが『WA』を大きくしていくことでしょう。

(76 期学年主任 伊藤)



## 学年末考査講評

### 現代文

◇大問一「情報のメタ化」について

- ①問3、4、9の記号の問題の正答率が非常に悪かったです。今回のテストではゆっくり時間をとって検討する時間はなかったとは思いますが、本文を読み込んでいたら絶対に選べるはず。問3の傍線部は「他のものと関連させた第二次情報」にあたります。選択肢のイは第三次情報の説明になっているのに気づけたかどうか。問4の選択肢はどれもそれっぽくなっていますが、あくまで本文通りに説明されているのはイのみ。本文との合致を確認するのを怠ってはダメ。問9も問4と同様です。
- ②問6について。(1)で求めていたのは「鶏」の抽象化です。にもかかわらず「私は庭で鶏を飼っている」など、関係のない情報を足した解答が散見されました。「抽象」という概念は大切なので今一度確認を。(2)は「ハシゴ」の特徴と「抽象」の特徴の共通性を見だして答える問題でした。難しい問いにしたつもりでした。できた人が偉い！

◇大問二「マルジャーナの知恵」について

- ①問2の「露も思わず」を「夢も思わず」にした誤答が多かったです。「夢にも思わず」が正しい表現ですよね。
- ②問3。正直必要だという人もいれば、不必要だという人もいますが、やっぱり説明問題の答えとしては「。」はほしいところです。というか無難です。つける癖を付けましょう。
- ③問8、「なぜ現代の資本主義は差異を創り出していかなければいけないのか」という問いではないので、それに気をつけましょう。解答の際に気をつけることとして、きちんと説明することがあります。まず、「差異」が必要な理由は、「差異から利潤を創るから」です。そして、その「利潤」が必要な理由は「資本主義の目的が資本の増殖だから」となります。これらをきちんと表現してください。

◇大問三「みるみる現代文」について

- ①あまりそのままの問題を出さずに、きちんと本文の内容を理解できているかを問いました。特に問4で差がついたと思います。「知とは本来、主観的で一人称的なものはずである。実際～幼児の発達とは、～環境世界に適応するように主観的な世界を内部構成していく過程に他ならない。それが知のベースであることは、現代人でも共通である。」ここにあるように、この幼児の例は「知とは本来、主観的」であることを説明するためのものです。にもかかわらず、「幼児の発達」という誤答が目立ちました。ここの「それ」が指すのは「主観的な世界」であり、5字以内というなら「主観世界」となります。

◇大問四「漢字」について。

- ①あえて小テストで正答率の低かった問題をそのまま出しました。結果、同じ間違いをしている人の多いこと多いこと。やり直しをしないと意味ないですよ。
- ②小テストでは問うていなかった意味からの出題もしました。結果、できが悪かったですね。漢字、特にことわざや四字熟語といった部分は、意味と一緒に把握しておいてほしいです。その方が勉強をしていて面白いとも思うし、「こんな意味で使うんかー」っていうところを大事にしてください。

◇大問五「初見の問題」について

- ①問1①の正答率の低さから語彙力のなさを感じました。漢字含め、語彙を増やしましょう。
- ②選択肢が紛らわしく、その上時間的にも追い込まれていたはずで、かなり難しかったと思います。正答自体は、きちんと本文との照合ができていれば導けるものになっているので、必ず解き直しをしてください。解答解説をupすることはできませんが、「なぜそれになるのか」わからないものがあれば気軽に質問にきてください。

◇全体所感

50分で5題は時間がかかなりシビアだったと思います。大問一、二を各10分、大問三を7分、大問四を3分、大問五を20分で解いていかないと間に合いませんでした。それを可能にしようと思ったら、事前に教科書内容、問題集内容をしっかり読み込んでおくことが必要です。「現代文やしなんとかなるやろ」と思っていた人は痛い目をみたと思います。初見の問題も時間さえあればおそらく正答にたどりつけたはずです。これを機に、問題集を解く際などは常に時間を意識して、速く正確に読む・解くを心がけてみてください。

## 古典

【全体所感】

復習を丁寧に行っている人が取れるテストだったと思います。ただ、問いに正しく応答できず、結果的に失点する答案が多かったです。以下ポイント。

【一】

問一③ 本文は「口惜しき」と連体形であったにも関わらず「残念だ」と訳している人がいました。訳出を求められた際は、単語帳で覚えた訳そのままを書くのではなく、**本文の活用形**で答えるようにしましょう。

問二 「に」の識別。かなり細かいところまで出題しました。ここまで求められることは稀ですが、訳の際には必要となる知識なので覚えておきましょう。

問六 問は「何が『辛く』見えたのか」です。これに対する答えは「～なこと。」のように、対象を表すのが適切です。「～から。」のように、「理由」の説明を行った人は要注意。

## 古典の続き

問十二 文学史の問題。今回は日記文学に絞りましたが、他のジャンルの文学と関連して出題されることもあります。大枠として、『源氏物語』（1000年頃）を中心として、それ以前以後で分けられるようにしておきましょう。

【三】

問二、三 できていません。漢文はまず読めることがイロハのイです。只管音読しましょう。

【四】

問九 概ねできていたように思います。ただ、「比喩を用いてつづられた」と問題に明示したにもかかわらず、答えに「役人が、名馬がないことを嘆く様子。」のように、書いた人は気を付けましょう。

【五】

1年生では扱えませんでした。漢文では、「思想」の分野を前提知識として持っておくと本文を読解していくうえで有利に働きます。孔子・老子などの諸子百家の考え方を2年で習うことになると思います。今回の一説を頭の片隅に置いておいてください。

## 現代社会

学年末考査の学年平均点は、50.0点です。各設問の考査講評については、模範解答の裏面に掲載していますので、各自復習しておいてください。

【5】時事問題の正答率があまり良くありませんでしたので、日ごろから、世界や日本の政治・経済・社会の動向を把握しておきましょう。そのとき、この1年間の現代社会の授業で学んだ、原理原則を用いて、事象を分析してみましょう。 (文責：日西)

## 数Ⅰ

① 教科書+ $\alpha$ のレベルの問題です。多少複雑な計算でも、効率よく、かつ正確にできるようになります。

② ③ 等式や不等式を証明するための方針や作法を正しく理解してください。

④ 相加・相乗平均の関係が使える条件を再度確認してください。

⑤ 4STEPに載っているパターンの問題に誘導を付けました。(2)の選択肢が正しく選べれば、それほど難しい問題ではありません。

⑥ これも4STEPに載っているパターンの誘導付きです。正しく場合分けを行えたとしても、出てきた $a$ の値が場合分けの条件を満たしていることを確認しなければなりません。また、おかしな日本語を用いた答案も多数ありました。(2次式の解、2次式の判別式とか) もちろん減点しています。 (谷口)

## 数A

- ① 教科書、4STEP A～Bレベルから出題しています。見たことがある問題も多いはず。(4)②、(5)、(6)は正答率が50%を大きく下回っています。前者2つは数式処理のみで解答できますが、(6)はxy平面に円をかくて視覚的に考えないと難しい問題です。**あくまで図形を扱っている単元である**ということを忘れないこと。
- ② ③ データの分析の計算および散布図・箱ひげ図の読み取り問題。データの分析は特に読むべき文章量・処理すべき情報量が多く、計算原理の理解と慣れが必要な単元です。難度そのものは高くないことが多いので、共通テストでも得点源にして欲しいところです。しっかり復習しておきましょう。
- ④ 週末課題プリントでも出題した問題です。2点(2, 1)、(4, 7)を通る直線が(a, b)も通ることを示す。気を付けてほしいのは「直線が(a, b)を通る」から「直線の方程式に(a, b)を代入できる」のであって、直線が(a, b)を通る保証がない段階で直線の方程式に(a, b)を代入することはできないということ。このことをどうやって説明するかが大切です。論理展開におかしなところがあればすべて減点しています。
- ⑤ 円外の点から引いた円の接線の問題。(1)は教科書レベルですが、意外なほど正答率が低かった(20%以下)。間違った人は絶対にできるようにしておくこと。(2)は図形的な発想がほぼ必須。平面上に図示した円や直線から新たな情報を得ることが大切です。(今回は正方形ができていたことが分かればいともあっさり解けてしまいます。)見慣れない問題にどのように対処するか、入試に向けてこれから問われてくる力です。
- ⑥ 三角形の内心の座標を求める問題。内角の二等分線の性質を利用して求めます。解き方の誘導がある問題では、自身で方針を立てなくてもよい反面、与えられた情報をうまく使わなければいけないという難しさがあります。共通テストでは特にその点に不自由さを感じることでしょう。今回のような問題を多くこなして、「誘導に乗る」ということを覚えてほしいと思います。

## 理数物理

学年の平均点はclassroomにてお伝えしますが、40点台前半の見込です。今回は文字を用いた問題を出題せず、問題集レベルの問題ばかりでした。有効数字のミスは1年通して意識してきた部分なので、かなり減少しました。その一方で、計算量が前回までに比べて多かったため、全体的に最後まで解き切れていない印象です。

大問1は、波・熱の基礎チェックレベルの問題。ここはすべて正解してほしかった部分です。

大問2は、定常波の問題。波が重ね合わさって定常波ができる様子をイメージして作図したい。

大問3は、熱量の保存の問題。正確で速い計算が要求されます。

大問4は、弦の固有振動の問題。見慣れない式に惑わされず、学習した知識を活用したい。

## 理数物理の続き

大問5は、状態変化と熱の問題。グラフの各値が何を表すかを注意して確認してください。

大問6は、気柱共鳴の問題。授業内で行った実験や開管・閉管の違いを思い出してください。時間配分もあり、(4)以降の正答率が非常に低かったです。

1年間の理数基礎はこれで終了です。答案返却の際も話しましたが、理系・物理選択の人は今年学習した内容を来年度でより一層深めていくので、休みを利用してニガテを克服しておいてください。文系の人でも3年で物理基礎を選択することは可能ですので、ぜひ検討してみてください。また、やはり計算力（正確かつ速く計算すること）が76期の皆さんの課題です。物理を来年度履修するか否かにかかわらず、答えに到達するまでやり直しすることを強く勧めます。そうすることで、1年間掲げてきたスローガン『納得するまで論理的に考える』が達成されるほか、数学などの今後の学習にも生きてきます。どの教科にも言えますが、勉強して無駄なことは1つありません。内容や考え方などが必ずどこかでリンクします。

これからも、何事にも全力で取り組む皆さんであり続けてください。1年間ありがとうございました！

## 理数化学

学年平均は約55点でした。授業では解説の時間がありませんでしたので、以下参考までに。

1. 基本問題 174 類題。金属のイオン化傾向と反応について。ナトリウムと水の化学反応式が書けない人が多かったです。ナトリウムはアルカリ金属（1族）です。
2. 基本例題 42 類題。使用する溶液は2種類あり、これらが混ざってしまっははいけません。
3. 基本問題 179 改題。そもそも酸化と還元を正しく理解できていない人がちらほら。
4. 基本問題 180 出題。
5. 基本問題 181 類題。「実際に実験をしてみて理解が深まった」「陽極と陰極の反応をきちんと見直そうと思った。」と感想に書いてくれた人たちは正解できていたでしょう。
6. 標準問題 187 改題。(1)だけ追加し、(2)以降は数値もそのまま。
7. 基本問題 185 類題。そもそも、電気分解における陽極と陰極の反応の優先順位は理解できていますか？
8. 基本問題 178、標準問題 190 類題。負極と正極の活物質は、大問4の問題文中にありました。(5)の希硫酸の濃度をきちんと求められた人はいませんでした。解説は模範解答の通りです。

全体を通して、ほぼ問題集と似たような問題ばかりで、難問はなかったかと思います。抑えるべき基本的な内容をきちんと学習できているかを問いました。

大事なことは、化学の知識を身につけることではなく、新たに身につけた知識を使って思考することです。将来皆さんがどのような職業に就くのかはわかりませんが、そういった能力が求められると思います。また、嫌なことや苦手なことからは逃げても良いという風潮ですが、私はそう思っ

ていません。嫌なことから逃げ続けた先には、どんな苦難が待っているか身をもって知っているからです。人生の中で、逃げられない場面、逃げたら取り返しのつかない場面がきっとやってきます。そこに立ち向かうには、今、皆さんの年代で、「一生懸命頑張った」と胸を張って言える経験が必要なのです。それは、勉強でなくとも構いませんが、皆さんがこの1年間で頑張ったことは何でしょうか。私のように大人になってから頑張っても、なかなか人生は変え難いものなのです。

(文責 中澤)

## 理数化学

学年平均点は52.2点でした。

Ⅱ. 教科書P.149表aの内容を覚えていないと解けません。赤血球表面にある凝集源Aと抗A血清( $\alpha$ )、あるいは凝集源Bと抗B血清( $\beta$ )が共存すると赤血球が凝集すること、一郎君がA型であることをふまえて、次郎君～五郎君がもっている凝集源と凝集素を考えてみましょう。

Ⅲ. 噴火はDCBAの順に起こっており、噴火してより時間が経過している地点ほど遷移が進んでいることとなります。なおヤシャブシ、ノリウツギ、ネズミモチ、ヒサカキは木本であって草本ではありません。(ウ)(エ)は陰樹なので、遷移が進んでいる地点(溶岩D)で多く見られる植物が候補となります。

Ⅵ. 問3  $3.54 \div 0.080 = 44.25$  有効数字が2桁なので44倍が答えになります。

Ⅶ. 問1 問題文と設問分より、右上に増加するグラフであると予想できます。問題文より、キーストーン種がいると生物多様性が高いとわかるので、生物多様性が高いところから低くなると(キーストーン種がいなくなると)、急激に生態系機能が減少する。ゆえに(2)が正解といえます。

問2  $200000 \times 365 \div (30 \times 2 \times 1000 \times 0.7) \div 1738.0952 \div 1738$  頭

問3 シャチがラッコを捕食してラッコが減少すると、ウニが増加する。ウニが増加するとウニがケルプを食べるのでケルプが減少する。これより4が正解であると分かります。

## 英語C

1年間しっかりと学習し着実に力をつけていっている人、一時は中だるみに入りかけながらもなんとか挽回した人、よく頑張りましたね。答案からも日々の努力が伝わってきました。一方で、学習や努力の跡が全く見えない答案も一部見られました。正直、すごく心配しています。せっかくの学習・成長の機会を逃し、その場に停滞しているのは、未来のある皆さんにとって非常に勿体ないことです。2年生では、1年生で習った文法などの基礎的な力をより強固なものにし、うまく活用していく力が求められます。今まだ自信のない点がある人は、春休みにしっかりと復習をし、新たな気持ちで2年生のスタートをきれいにしましょう。応援しています。

以下、気になった点を3点挙げます。

## 英語 C の続き

❶ 今回の試験では、語彙の問題に比べて、並び替えや和訳などの出来があまりよくありませんでした。単語の勉強に熱心に取り組む人が増えているのはもちろん良いことですが、単語ばかり学習して満足していませんか？ reading, listening, writing, speaking の4技能どれをとっても、使う時は単語単体ではなく文の形です。語彙力を発揮するには、文法や構造把握の力も必要です。自分の日々の学習が語彙のインプットに偏っていないか、もう一度見つけなおしてみましょう。並び替えや和訳の問題では、キーとなる構造・文法事項や表現が含まれています。「なんとなく」ではなく、しっかりと意識して文を作りましょう。

⑧ (2)② “yet” … 【接続詞】「けれども」 / “in common” 「共通して」

③ “for - reason” 「～の理由で」 / very 【形容詞】「まさにその」

④ “who I am” 「現在の私」

❷ 和訳の問題では、いまだに「雰囲気訳」をしている答案が目立ちます。読解で内容を理解する時は、大意の把握だけでも十分ですが、和訳の際はきっちりと訳すことが求められています。

⑦ (4) [雰囲気訳例] 「5300 年前の医学知識についての重要な手がかりとなるでしょう」

[正しい訳例] 「5300 年前の医学知識がどのようなものだったかについての重要な手がかりを与えてくれるかもしれません。」

[雰囲気訳]では“what A was like / may / provide” の部分が訳出されておらず、減点となります。正しい構造や内容を理解した上で、不自然な部分を直しこなれた日本語にする「意訳」と、なんとなくこんな意味かな？とだいたいの雰囲気で訳す「雰囲気訳」は全く別のものです。せっかく理解していても、点数につながりません。一つ一つしっかりと確認をして、自分が理解していることをアピールするような解答を作るよう心がけましょう。

❸ ⑤ (7)では、再帰代名詞のミス (Ohimself / ×hisself) が見られました。再帰代名詞に関しては、中学校での学習範囲で、英 G の冬休みの宿題でも復讐として範囲にも含まれていましたが、まだ自信のない人は Breakthrough(p.423) に表がありますので、そちらで確認してください。

1 人称・2 人称は「所有格+self(単数)/selves(複数)」(myself/ yourself/ ourselves/ yourselves)

3 人称は「目的格+self(単数)/selves(複数)」(herself/ himself/ itself)

## 英語 G

学年平均点は 60 点ぐらいになると予想していました。実際は 58.2 点だったので、概ねこちらの予想通りでした。しかし、この簡単なテストで点数が 30 点以下だった人は非常にまずいです。おそらく、そういう人は今までのテストも低かったのでしょう。1 年で習った文法知識のうち 30%しか身につけてない状態で 2 年生、3 年生になると苦労するのは目に見えています。春休みで少しでも取り返してください。



以下、問題の解説・コメント

② 4 択

(2) I ( hope Rumi comes ) back to Japan soon.

- hope に続く that 節内は、現在形でも will 付きでも可。
- Rumi would / could come なら wish でも可。未来の願望に関しては、参考書の p. 341 に。

③ 書き換え

(2) “I don’t like cats.” “Me neither.” 【実力問題】

肯定文に同意する時は “Me too.”、否定文に同意する時は “Me neither.” とともにカジュアルな表現。

(4) We are hoping that ( you ) will ( return )( safely / safe ).

- ワークの問題をそのまま出題したのに、safety という誤答が多かった。safety は名詞。
- …you will return safe

S' V' C'

safe は you とイコールの関係にあるので、C とみなせます。一見、普通の第 2 文型(SVC)に見えますが、return は第 1 文型(SV)を取る動詞なので、実は別物です。このようになくても文は成立するが、主語や目的語とイコールの関係にあるものを、「準補語」や「擬似補語」と言ったりします。

「～の状態で」と訳します。

S=C の場合は、being が省略された分詞構文と考える方が分かりやすいかもしれません。

(例) I wiped the table tired. SVO(+C) (S=C)

He returned to his homeland a different man. SVM(+C) (S=C)

Ken left his office exhausted. SVO(+C) (S=C)

I drink my coffee black. SVO(+C) (O=C)

I ate the egg raw. SVO(+C) (O=C)

(10)~(12)、(14) → 時制の把握が重要！ 「今」のタラレバなのか、「過去」のタラレバなのか！

(13) I did not realize how ill she was until I visited her の下線部を強調構文で強調したのが、

It was not until I visited her that I realized how ill she was.

参考書の p. 547 参照。

## 英語 G の続き

### 4 並べ替え

- (1) 模範解答 Were Tom to run, I would vote for him.は、if ありで書けば、  
If Tom were to run, I would vote for him.となります。
- (2) 模範解答 No sooner had he gotten into bed than he fell asleep.は標準的な書き方では、  
He had No sooner gotten into bed than he fell asleep.となります。

### 6 英訳(文脈付き) ……実力問題

- (1) Have you ever thought about what makes you happy? 自分を幸せにするのはお金でも物でもない。Even with money and things, people may not be able to…

元の問題では、前の文も、次の文も日本語で書かれていましたが、「自分を幸せにする」、「物」という表現に関してヒントを与えるために英文に変えました。強調構文を正しく使えるか、neither A nor B を使えるかを問う問題でした。ただ、「自分を幸せにする」「物」で減点されている人が予想以上に多かったです…。

- 模範解答の It is neither money nor things that make you happy. の you  
→ 「一般の人々をさす you」です。この you は「自分」と訳す時があります。PRO-VISION II の Lesson 1 Part 3 の Translation 2 参照。
- Neither money nor things make you happy.  
新情報 (一文前に出ている)旧情報  
→ 英語は原則、「旧情報 → 新情報」という語順を好むので、少し問題あり。授業で、きちんと説明する機会はありませんでしたが、今後のために頭の片隅に置いておいてください。ちなみに、She plays basketball. So does Tom という語順になるのも、so does (=バスケットボールをする)が旧情報で、Tom が新情報だからです。I gave a watch to him (←代名詞=旧情報)より I gave him a watch. を好むのも、同じ理由です(参考書の p.57、pp260-261 参照)。
- 英訳する箇所と前文で、2回連続も make(s) you happy が出てくるのはどうなの？  
→ 確かに、ネイティブの先生も、repetitive なので自分なら “It is neither money nor things that do.” とするかな、とおっしゃってました。  
ただ、この文章の筆者が「自分を幸せにする」を2回繰り返しており、また、文脈付きとは言え下線部を訳す問題なので、入試でこのような問題が出てきたら、素直に “make you happy” と訳す方が無難かな。

#### • 悲しい誤答 2 選

- ① Neither money nor things that make you happy. ← ただの名詞の塊！！
- ② The thing makes you happy is neither money nor things. ← 第何文型！？
- S V O C V C

(2) Today, we take computers for granted. もしコンピュータが発明されていなければ、私たちの世界は今とは違ったものであったらろう。

- 「あった」 → 「た」があるから【過去】の話と思ったのか、would have been という答えが多かったです。「私たちの(今の)世界は…」という意味なので、would be。

## 7 和訳

(1) He could not have been cured of the disease 20 years ago.

- 20 years ago → 副詞句に仮定の意味が含まれている。「たら」「れば」「なら」を付けましょう。分かっていたのに、「前に」「前では」と訳した人はアピール力が足りない！ めざせ、アピール解答！
- cure him of the disease → 「彼の病気を治す」。
  - ①この文は受動態なので、直訳だと「彼の病気が治される」であるが、自然でない(さらに、助動詞があるので)、能動態で訳すべきである。
  - ②和訳から分かるように、彼は医者側ではなくて患者側である。
  - ③同じような形を取る動詞に rob や deprive がある。rob 人 of 物。
  - ④cure the disease of him ではない！！
  - ⑤【結果構文】の一種と考えると理解しやすいかもしれない。

< 結果構文の例 (下線部は結果句) >

- Tom broke the door open. 【SVOC】 → 「ドア」「開いている」
- Tom painted the house red. 【SVOC】 → 「家」「赤色」
- Tom broke the vase into pieces. 【SVOM】 → 「花瓶」「粉々に」
- Tom divided the bread into halves. 【SVOM】 → 「パン」「半分に」
- Tom was moved to tears. 【SVOM】 → 「トム」「涙に」
- Tom cured him of the disease. 【SVOM】 → 「彼」「病気が分離」

↑ 「分離」と言えば off ですが、of は off の先祖なのです！

independent of の of も「分離」を表します

ただ、結果句が「the+名詞」である例は見たことがないので、結果構文ではないかもしれません。

Jock Semple caught Kathrine by the shoulder.

全体                  部分

とも似ていますが、この構文の場合、前置詞の後ろが the であるのに対して、cure の場合、of の後ろは the ではなく所有格でも構いません。

実のところ、三好も cure A of B がどのような原理でこうなっているのかはわかりません(笑)。興味がある人(特に国際教養ゼミ生)は考察してみてください。



## 春休みの課題・連絡

以下に春休みの課題を載せています。「春休み」と銘打っていますが、3/23(水)の終業式後に始めたら、とてもじゃないが間に合いません。今すぐ取り掛かりましょう

ここに掲載している教科以外にも、日々の宿題等で課題が出されているはずですよ。日々の学習も含め、岸高手帳を活用して、計画的に学習を進められるようにしましょう。

### 現代文・古典

- ① 「みるみる実力アップ」25～27
- ② 「漢字と語句の総合演習」p110～139
- ③ 「アップリフト 古文」1～3 p8～p13
- ④ 「速読レッスン 漢文」p4、5で使い方を確認した上で、p6～9

提出は①と③と④です。宿題考査の日にクラスごとに集めて国語科までもってこること。

宿題考査の範囲は①～④すべてです。

宿題考査は実力問題も出題します。

### 数Ⅰ・数A

別紙にて春休みの宿題を案内しています。Ⅰ・Aの内容から自分に必要な内容を選んで、ノートに解答して提出してください。春の宿題考査は、青チャートⅠ+Aの内容から出題します。スタディサポートの対策も兼ねて、苦手分野の復習に取り組みましょう。

#### 【 連絡 】

2年生の数学Ⅱは、「三角関数」と「図形と方程式（続き）」からスタートします。特に三角関数では数学Ⅰで学習した「三角比」の知識はすべて前提として学習していきます。また、あらゆる単元で最大値、最小値を求める際に「2次関数」の考え方を利用します。もしこれらの単元に不安があるならば、最優先で対策することを勧めます。春休みの宿題は、このように不得意な分野の復習を特に重点的に行うようにしてみましょう。ここで手を抜かなければ2年での学習がぐっと楽になります。頑張りましょう！！

## 理数化学

<理科の生徒全員>

以下の課題を提出用ノートに実施し、その成果を示せ。2年次最初の理数化学の授業でノートを提出すること。ノートの表紙には、教科名と学年新組新番、氏名をわかりやすく明記すること。(例えば、黒の表紙のノートに黒のペンで書いてはいけない。) ルーズリーフは不可、サイズはB5とする。

1. 期末考査の解説を作成する。

2. 問題集(エクセル化学基礎)の「基本例題・基本問題を全て」または「標準例題・標準問題を全て」またはその両方を解き、答え合わせをし、間違えた問題を解きなおすこと。計算の過程や間違えた解答は消さずに残しておくこと。

## 英語C・G

### 英語Ⅱ

① 「システム英単語」 p.102 ~ 121 / p.2 ~ 5 (復習)

② 「PRO-VISION Ⅱ (Reading1)」 教科書 p.152 - 159 / ワーク p.82 - 84

### 英語構文

③ 「英語の構文 150 (第1~2章)」 テキスト p.12 - 39 / 学習ノート p.2 - 29

④ 「Bright Stage (第1~3章)」 p.2 - 39

\*上記の内容を宿題考査の範囲とします。③は**宿題考査当日**に提出です。

\*詳細については、英語のクラスルームで確認してください。

## 情報ゼミ

情報ゼミのクラスルームかチャットに随時掲載。こまめにチェック。

質問等はチャットかメールでお願いします。オンラインディスカッション歓迎。

開発系の人は試作をつくるときましよう。まとまった時間に“ガガッと”やりましょ。



## コラム ～私が今、伝えたいこと～

普段授業などでは言えていないが、生徒たちに今、伝えたいメッセージ（叱咤激励、アドバイス、感想、連絡）を載せています。

### 曾野先生

#### 76期のみなさんへ

この一年間、授業では4クラスしか担当していなかったので学年の半分の皆さんとは直接一緒に過ごす時間は少なかったのですが、4月から産休に入るので、その前に皆さんにここでメッセージを伝えたいと思います。

まずは英語に関して。昨年春、英語科の先生達(中野先生、三好先生、土居先生と私)であなたたちにつけて欲しい力についてたくさん話をしました。2年後に控える大学入試に耐え得る力はもちろんだけれど、それだけではなく“人”として、これからの社会に生きる皆さんにはこんなことを知って欲しい、こんな人達になって欲しいという願いを込めて計画を立て、一年間の授業や活動、課題などで皆さんには様々なことを課してきました。普段は皆さんが出来ていないことや課題点などを中心に言ってばかりであまり誉めることも少なかったかもしれませんが、職員室では、あなたたちの頑張りや成長を実は陰ながら喜んだりもしています。特に英Cの最後に課したグループプレゼンでは皆さんの成長が感じられたし、個人的に英Gの“My favorite book”の課題においては、評価しながら何度も笑顔がこぼれてしまいました。初のclassroom上に録画データでの提出だったのですが、たくさんの発見がありました。何度も何度も練習し、撮り直して提出したのが伝わってくる人、自分の力だけで英文を作り、想いを込めて話している人、普段は控えめだけれどとってもスピーチが上手な人あるいは発音が綺麗な人、好きな本のことならこんなにも情熱的に話すのだと思わせる人など、皆さんの一生懸命な姿にとっても好感が持て、普段の授業だけではこのような皆さんの才能や興味、頑張りなどに気づいてあげられていなかったことに少し反省さえしました。いつもたくさんの要求をされて大変だったと思うけれど、一つ一つ懸命に取り組んだことは、確実にみんなの力になっていると確信しています。「頑張っても誰も評価してくれない」、「こんなんやっても意味がないんじゃないか」-そんなことを思わずに、その懸命さ、愚直さを今後もどうか忘れずにいて欲しいと思います。“無駄”と思える様々なことは、実はみんなの人間の“幅”になっているものです。

授業の最後の感想に「高校に入って、英語が得意から好きに変わった」と書いてくれた人がいて、とても良い感想だと感じました。この“好き”からくるパワーってとてつもないと思うからです。好きだからもっと知りたいし好きだから辛くても頑張れる一教科でも部活でも、恋なんかは特にそうですよね。恋に限らず、好きな人が沢山いる学校って、とてつもなく楽しい。これから皆さんには、たくさんの好きなものに出会って欲しいし、このコメントを書いた人のように、“好き”を自ら作り

出して欲しい。これは、受け身で生きている中で得られるものは少なく、自分から何かを頑張っていく中でそれができるようになる喜びを知り、もっと上を目指したいという気持ちになって努力し、そして極めることで“好き”になる—そんな好循環なのだと思います。だからまずは何事もせめて嫌わずに、小さな努力をしてみる事です。そうしたら、見えてくることが必ずあります。一つ一つのことを努力するみんなの道は必ず開けていきます。

この一年間、心ある 76 期の先生方と素直でスポンジのように様々なものをどんどん吸収していく純粋な皆さんとから成る温かい“輪”の中に入ることができ、本当に楽しかったです。一度離れなければいけない今は余計に、その貴重さやありがたさが身に染みて、本当に寂しい気持ちです。ですが、皆さんには私の分まで来年一年を楽しんで、日々を大切に生きて欲しいと願います。先日卒業していった立派な 74 期生の皆さんの卒業式を見ても思いました。きっとあっという間にみなさんもあの場に立って岸高での日々を振り返る日が来るのです。生きることができること、頑張ることができること、一緒に苦楽を共にする仲間がそばにいることを何よりの糧に、ますます素敵な 76 期の皆さんになってくれることを心から願い、期待しています。また皆さんに会える日を心待ちにしながら、私も新たな一年を明るく元気に過ごしていきたいと思います。これからもがんばってくださいね、76 期生！！



## 今後の予定

3月の行事予定を載せておきます。

3/22 (火)     スタディーサポート  
23 (水)     終業式